

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、雄踏圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和4年6月1日（水）9時30分から11時30分まで
参加者	委員：10人 市社協：9人 その他：10人（高齢者福祉課：2人、長寿保険課：1人、コミュニティ担当：4人、地域包括支援センター3人）
場所	西区役所3階 大会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1）会長、副会長選任、委員紹介 会長、副会長を事務局から提案。承認された。 ご出席の協議体委員、関係機関職員を事務局から紹介。</p> <p>（2）共助型交通について 庄内地区、春野地区で検討されている共助型交通について浜松市役所高齢者福祉課から説明いただいた。 [説明内容] 取り組みの経緯 ・人口減少と少子高齢化を背景とした路線バスの撤退などにより公共交通の空白地があらわれている。そのような地域には地域バスを導入してきたが利用率が少ないことなどが課題とされてきた。 ・中山間地域として天竜区春野地区、郊外型地域として西区庄内地区が選定された。 参考事例 ・京都府京丹後市『ささえあい交通』 ・兵庫県養父市『やぶくる』 ・富山県朝日町『ノッカルあさひまち』 [意見等] ・事例となっている地域の状況は、担当者が出向き調査したのか知りたい。 →それぞれの取り組みが行われている現地へ担当者が出向いて聞き取り等行った。 ・ドライバーは自治会や地区社協が受けていくのだろうか。 →春野地区も庄内地区も議論中 ・春野地区、庄内地区は何故選ばれたのか。 →白洲町の路線バスが廃止になり、地域バスが検討され、地域タクシーという形に検討しなおされた。</p> <p>（3）協議体会議について振り返り 令和4年度の協議体が始まり、これまでどういった流れで協議体の話し合いが進んできたのかを改めて説明。 [説明内容] ・2層の協議体の役割について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回協議体会議、第2回協議体会議の内容 <p>(4) 地域資源マップについて</p> <p>令和3年度の協議体の中で収集した地域情報をGoogleマップに落とし込んだ状況について報告。</p> <p>[提案事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者同士で共有していくインターネット上のマップの他に、紙媒体で地域住民へ配布できないか。 →紙媒体の方が良いと意見多数。 ・地区内の店舗へ掲載許可の確認をしたい。 <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載許可はすでに聞いてある状態で地区センターへ提出している。 →書面で確実に許可を取りたいので、改めて許可取りはさせてほしい。地域ごとに差があるので、地域ごとに相談させてほしいと回答。 <p>(5) 地域状況の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞阪地区 弁天島で行った調査について情報を共有。 ・社会福祉法人の施設利用について情報提供。 <p>アンケートを実施し、順愛こども園（舞阪地区）、山崎園（雄踏地区）から部屋の貸し出し等が出来るかと回答があったことを報告した。</p> <p>(6) 地域包括支援センターへ寄せられる相談について</p> <p>令和3年度の相談のうち、2/3ほどが介護保険申請に関する相談であった。残りの相談については、同居家族や親族以外からの相談であり、地域の方からの相談が増えているように感じられる。</p> <p>3 連絡事項</p> <p>(1) 次回開催予定</p> <p>会議参加者の増員もあり、現在会場となっている西区役所大会議室では手狭になってきた。舞阪協働センターのホールを会場と出来ないか提案した。了承された。</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>各地区での活動者さんに委員として協議体に参加していただく件については、今後地区ごと相談していく。</p> <p>地域情報マップ、協議体の報告書の作成など、地域住民向けに出していく資料は地区ごとに相談をかけていく。</p>